

景観を分類するに当たっては、Ⅰ山岳、Ⅰ・Ⅱ 亜山岳、Ⅱ丘陵地、Ⅲ平地、Ⅳ海浜の五つの景観立地とした。

景観の細分類に当たっては、景観を構成する要素として重要な役割を果している「水」の態様を指標として、主景観に水界を意識する景観と意識されない景観とに分け、前者をさらに 1 湿地、2 湖沼、3 溪谷、4 河川、5 海洋とに区分した。これらの区分をさきに大別した景観立地区分に対照させて次の 25 の景観に細分類した。

#### 景 観 分 類

水 界 を 意 識 す る 景 観		
3	4	5
溪 谷	河 川	海 岸
⑦山岳溪谷景観		⑧海崖景観
〃	〃	〃
⑬丘陵地溪谷景観	⑭丘陵地河川景観	⑨海崖景観 ⑮多島海景観
	⑳平地河川景観	㉓砂浜景観
	(河口景観)	

ヴィジビリティについては、視野範囲の尺度として水平面、垂直角の大きさなどにより、それぞれ 5 段階に評価した。

景観自然度については、地形立地の改変の有無と多少、水質の汚濁程度（視覚にかかわる）大気の透明の程度、視地における騒音の度合、地表植生の改変の有無と多少、などを指標として評価した。